(1) 求人・求職者構造分析の機能と目的

都道府県別に、職業分類ごとの有効求職者数(総数、男女別)、有効求人数、就職件数を把握する ことができます。

これらの指標は、折れ線グラフで、職業間での比較や他地域との比較ができます。

また、都道府県別に、職業分類ごとの雇用需給のミスマッチ状況を把握することができます。

これらの分析を、地域での雇用創出施策の検討に役立てることができます。



• 厚生労働省「職業安定業務統計」

• 求人・求職者構造分析の画面の表示方法については、「基本的な使い方」を参照

地域経済分析システム

RESAS

(2) 求人・求職者構造分析の表示内容

指定した地域における有効求職者数(総数、男女別)、有効求人数、就職件数の割合について、指定した職業分類ごとに枠が表示されます。

枠にマウスオーバーすると、職業分類の名称と表示内容で指定した値が表示されます。

やの大きさ

右メニューで設定した表示内容の値について、求人・求職者に対する職業分類ごとの 割合を表しています。割合が最も大きい分類から順に、左上から並びます。

● 枠の背景色

職業分類単位で色分けして表します。

※初期表示項目:2020年度、有効求職者数(総数)、職業大分類で見る



<u>出</u>典 ・ 厚生労働省「職業安定業務統計」

2

(3) 右メニューの説明

右メニューでは、左の求人・求職者構造分析の表示内容について設定します。



(4) 推移を見る

指定した地域の職業分類ごとの求人・求職者数と推移を見ることができます。 推移グラフでは、指定している表示内容について、上位5位の職業分類の推移を表示します。 他の職業分類を指定して、グラフで比較することができます。比較する他の職業分類は、最大で5 分類まで選択できます。



• 厚生労働省「職業安定業務統計」

く推移グラフ表示方法>

右メニューの「推移を見る」をクリックします。



▶ 指定した地域の推移グラフが表示されます。

4

RES

地域経済分析システム RESAS

求人・求職者構造分析

く推移グラフ画面構成>



RESAS



比較職業分類を削除する場合は、「表示する職業分類を指定する」に表示されている職業 分類項目の右端にある「×」ボタンをクリックします。

RESAS

地域経済分析システム RESAS

求人・求職者構造分析

(5) 職業ミスマッチの状況を見る

٠

指定した地域について、職業分類ごとに有効求人数と有効求職者数の比較、男性求職者数と女性求 職者数の比較、有効求人倍率を見ることができます。

出典

厚生労働省「職業安定業務統計」

<職業ミスマッチ状況グラフ表示方法>

右メニューの「職業ミスマッチの状況を見る」をクリックします。



▶ 指定した地域の職業ミスマッチ状況グラフが表示されます。

7

地域経済分析システム

RESAS





RESAS

地域経済分析システム RESAS

求人・求職者構造分析



● 表示順を指定する

「表示する内容を指定する」で選択した内容に応じて選択できる項目が変わります。

「有効求人数・有効求職者数」を選択している場合

- ・職業分類コード順で見る
- 有効求人数順で見る
- 有効求職者数順で見る

「男性求職者数・女性求職者数」を選択している場合

- ・職業分類コード順で見る
- ・男性求職者数順で見る
- ・女性求職者数順で見る

「有効求人倍率」を選択している場合

- ・職業分類コード順で見る
- ・有効求人倍率順で見る

RESAS

RESAS

地域経済分析システム

(6) 他地域と比較する

指定した地域について、有効求職者数(総数)、有効求職者数(男性)、有効求職者数(女性)、 有効求人数、就職件数、有効求人倍率を、職業分類別に他地域と比較してグラフを表示します。

職業分類は、任意の職業分類を指定して、グラフで比較することができます。比較する他の職業分類は最大で5分類まで選択できます。



• 厚生労働省「職業安定業務統計」

<地域間比較グラフ表示方法>

右メニューの「他地域と比較する」をクリックします。



➡ 指定した地域の地域間比較グラフが表示されます。

求人・求職者構造分析

10

<地域間比較グラフ画面構成>

